

第2回「令和8年度 OSAKA しごとフィールドにおける
中小企業人材支援センター運営業務」に係る
大阪府公募型プロポーザル方式等事業者選定委員会 議事要旨

1. 日時及び場所

日時：令和8年3月25日（水曜日）10時00分から11時25分
場所：エル・おおさか本館 11階 会議室

2. 審査方法

審査基準（企画提案公募要領に記載）に基づき、大阪府にて企画提案公募参加資格の確認を行った。選定委員会では、資格適合者について書類審査及びプレゼンテーション審査を実施し、3名の選定委員が提案内容について採点した。各委員の採点結果に基づき選定委員が合議を行い、最終評価点を決定し、最終評価点が採択の基準となる60点を上回る提案者を最優秀提案者として選定した。

3. 議事概要

①審査方法等の確認

《提案状況》

- 提案事業者：1事業者
OSF 中小企業人材支援センター運営共同企業体
（代表構成員：公益財団法人大阪産業局、構成員：一般財団法人大阪労働協会）

《審査方法の確認》

- 書類審査
 - ・企画提案内容についての書類審査
- プレゼンテーション審査
 - ・提案内容について、提案者が20分間のプレゼンテーションを実施。
 - ・その後、選定委員による質疑を実施。

《採択基準の確認》

- ・総合評価点が100点満点のうち60点以下の場合は採択しない旨を確認。

②審査及び質疑応答

書類審査（5分）、プレゼンテーション審査（20分）、質疑応答（15分）を実施

【主な質問内容】

- ・広報について、これまでの実績を踏まえ、効果的な取組や注力する予定の取組について伺いたい。
- ・中小企業ではまだ副業・兼業人材の活用が浸透していないように思うが、活用を促進していくために具体的にどのような取組に注力していく予定か。
- ・広報施策として、経営者自身が採用担当を兼任している場合と総務などの管理部門が兼任している場合の2パターンを想定して広報手段を提案されているが、具体的にどのように使い分けるのか。
- ・質的な差別化戦略を打ち出しているが、具体的にこういったことを想定し、どのような施策で実現させていく予定なのか。
- ・企画提案書内にある構造的ミスマッチについて、具体的にどのように改善していくつもりか。

③採点及び最優秀提案者の選定

書類審査及びプレゼンテーション審査を踏まえ、各委員が提案内容について採点を実施した。各委員の採点結果を基に、合議制により総合評価点を以下のとおり決定した。

《評価点内訳及び提案金額》

最優秀提案事業者	総合評価点 (100点満点)	評価点内訳		提案金額 (税込)
		企画提案部分 (85点満点)	価格点等 (15点満点)	
OSF 中小企業人材支援センター運営共同企業体	80.7点	66.7点	14.0点	136,029,000円

④選定理由

書類審査及びプレゼンテーション審査の結果を踏まえて、各提案事業者の提案について選定委員が総合評価を行ったところ、基準（60点）を超える総合評価点を獲得していた。また、OSF 中小企業人材支援センター運営共同企業体の提案内容は大阪府の業務趣旨をくみ取っていることに加え、十分な経験と実績に裏打ちされたものであった。

以上のことから、OSF 中小企業人材支援センター運営共同企業体を最優秀提案者として決定するものである。

【その他、委員の主な意見】

- ・認知度向上に向けた広報について、多様な取組を計画しており素晴らしいと思う。
- ・仕様書に定められた内容に加えて追加提案もあり、事業実績報告書を踏まえて、実現可能性に対する自信やノウハウがあったように感じられた。
- ・優れている点は、求められている内容を一定の水準で提案できていたところ。一方で、統計手法である t 検定を用いた採用力診断のデータ分析について、分析方法が十分ではない点もあるため、t 検定のみではなくもう少しデータの活用が必要かと思う。

4. 選定委員会委員（敬称略・五十音順）

所属・職名等	氏名	選任理由
大阪弁護士会 (北尻総合法律事務所・弁護士)	門林 俊夫	法律の専門家であり、個人情報取り扱いや公平性・公正性などコンプライアンスに精通しており、本業務の提案内容の法的妥当性について、審査いただくため。
大阪商工会議所 人材開発部 部長	小林 幸治	中小企業の経営改善や事業戦略の策定に関する専門的な知識と経験を有しており、本業務の提案内容について、企業支援の視点からの妥当性や具体性等について、審査いただくため。
関西大学 ビジネスデータサイエンス学部 教授	三崎 秀央	企業経営に関する豊富な経験から、企業の経営課題に精通しており、本業務の提案内容について、企業支援の視点からの妥当性や具体性等についての提案となっているかを審査いただくため。